

曽於市写真コンテスト

曽於市内の魅力あふれる写真 113 作品が応募され各賞が決定。
入賞・入選は、次の作品です。



議長賞 「あたいにも叩かせったもんせ」
海江田 昌邦 氏（霧島市）



市長賞 「たべごろ」
窪 健一 氏（志布志市）



入選 「願いをこめて」
豊廣 俊治 氏（霧島市）



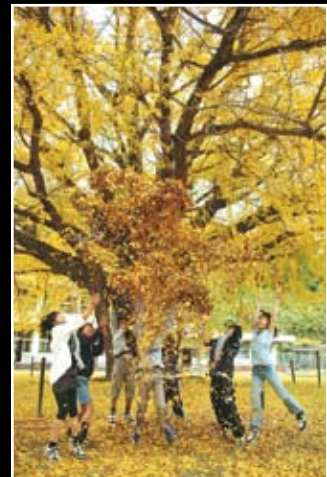
入選 「鬼火たき」
松下 良明 氏（曽於市）



入選 「先駆けの子供達」
山野 洋介 氏（鹿児島市）



入選 「我が子のように」
大社 正照 氏（鹿児島市）



入選 「天まで届けー」
赤石 透 氏（霧島市）



優秀賞「競演」黒木 京子氏（宮崎県東臼杵郡）



優秀賞「溝之口刀踊り」諏訪園 保氏（鹿児島市）



入選「油竹に挑戦」
吉永 文哉氏（霧島市）



入選「おいかけっこ」
吉岡 加代子氏（曾於市）



入選「収穫の日」
辻 典昭氏（始良市）



入選「全力」
大迫 厚二氏（曾於市）



入選「バシャ〜ッどろんこフラッグ」
中川 義昭氏（鹿児島市）

写真コンテスト・審査講評

第4回の「曾於市写真コンテスト」は県内各地から113の応募が寄せられ2月10日に審査が行われて14点の入賞・入選作品が決まりました。
今回の特徴は、祭やイベントだけでなく農業や畜産、生活など幅広く

曾於市の風土が撮影され応募されていることでした。写真は表現活動であるとともに優れた地域の記録でもあります。コンテストが生きてきた地域社会の記録を積み重ね、その魅力を発信すればその意義は大きいと思います。

写真は撮影者の視点や感動をいかに表現するかが問われます。優れた作品には撮影者の心が第三者つまり鑑賞者に伝わる力を持っています。

今回の審査でも「感動の伝達力」と「地域の風土性」を重視しました。入賞・入選作品はそうした内容を強く感じます。

写真表現にはいくつかの技術的な事項が大切です。構図・光・アンダル・シャッターチャンスなどは魅力的な表現の大切な要素です。

地域の生活・風土を活写して素晴らしい曾於市を幅広くアピールする写真を多くの写真愛好者が応募されることを期待しています。

（公社）日本写真家協会
（JPS）会員 熊副 穰

